

～ 念ずれば 花開く～ (306回)

暑い！ 暑い！ という言葉を、何度発したか、わからないほど猛暑は秋になっても今なお続いている。

“少年老いやすく、学成り難し……階前の梧葉すでに秋声” 時代が遙かに緩やかな時でも、時の流れは、一時も立ち止まることなく今日に至っていますが、今現在は、更にスピードを増し、考え事すらの余裕もなく凄まじいほどの速さで9月を迎えております。

このペースでは、残り3分の1など、ほんの一瞬かも知れません。

“一寸の光陰、軽んじることなく” 今回は、「坂村 真民先生」の貴重な講演テープをお聞きした後、余韻を残しつつ、場所を移動し、お昼を挟んでバーベキューを楽しむ例会とさせていただきます。

参加は自由です。

ふるっでの期待しております。

記

1. 日 時 : 平成22年9月19日 (日) AM8時～12時
2. 場 所 : 平山建設 (株) 会議室 (6F) 電話0476-23-1111
成田市花崎町795

<交通案内> 京成成田駅東口徒歩5分、JR成田駅徒歩8分 駐車場有り。

3. 会 費 : 3000円 (バーベキュー懇親会含む) 懇親会不参加は従来通り1000円
4. 演 題 : 坂村 真民 先生 講話紹介 平成3年5月11日 チサン本社にて 収録

～念ずれば花ひらく～ 坂村 真民

念ずれば 花ひらく

苦しいとき 母がいつも 口にしていた

苦しいとき 母がいつも 口にしていた

ふしぎと ひとつ ひとつ ひらいていった



坂村 真民 (さかむら しんみん) 本名 昂 (たかし)

明治42年1月6日 熊本県に生まれる。

父親の急逝によりどん底の生活に落ちるも5人兄弟の長男として母親を助け、幾多の困難と立ち向かう。

昭和6年、神宮皇学館(現皇学館大学)を卒業。

25歳の時、朝鮮にて教職につき、36歳全州師範学校勤務中

に終戦、昭和21年から愛媛県で高校の国語教師を勤め、退職後、[四国に移住後](#)、[一遍上人の信仰](#)に随順して仏教精神を基調とした詩の創作に転じる。

詩の愛好者によって建てられる真民詩碑は日本全国47都道府県に分布し、その数は現在、海外の20基と合わせると約660基を超えている。

5. 千葉木鶏の集い「バーベキュー懇親会」の開催

例会後、平山建設 キングファームにて、バーベキューにて、飲んで騒いで肝臓を照らせればと懇親会を計画しました。

キングファーム内の、「東屋」では、映画『凧として愛』(靖国関連) 上映します。

場 所 : 富里市大和字井戸向317

送 迎 : 会場の平山建設からワゴン車にて送迎いたします。

※ 出欠については、15日までにご連絡をお願いいたします。

川柳 : 「離さない」10年経つと 話さない 倦怠夫婦